

銀座街づくり会議

<http://www.ginza-machidukuri.jp>

〒104-0061 中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

*メール配信をご希望の方はお知らせください*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています*本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます*

銀座街づくり会議は本年1月、東京都に対して「都心と臨海副都心を結ぶ公共交通についての銀座の考え方と提案」を記した要望書を提出いたしました。その後、東京都は、BRTについての基本計画をまとめ

て発表しました。それによれば、環状2号線を主要路線として都心と臨海部を結ぶBRTルートが計画されています。

BRTルートと駅の位置について、東京都に要望書

銀座街づくり会議は、東京都が発表した「都心と臨海副都心を結ぶBRTに関する基本計画」の内容をふまえ、8月6日、あらためて東京都都市整備局に対し、銀座からの提案と要望を提出しました。その内容は、以下のとおりです。

枝線のルート

都心と臨海副都心を結ぶ公共交通（BRT）は、速達性と大量輸送を重視する主要ルート（環状2号線）とは別に、その枝線のひとつとして、銀座地区を經由して東京駅（八重洲口）方面への路線を設定していただくことを提案します。

枝線ルートの役割

枝線ルートは、すでにある商業地やにぎわいの場（築地市場跡、歌舞伎座、銀座など）を地上で連続させ、国内外のお買物客、観光客に、各地域の持つ魅力を楽しんでいただき、都心エリアの拡大と一体化に寄与できるようなルートです。

臨海部住民ならびに臨海部で働く方の通勤にももちろん便利に利用していただき、特に、通勤帰りの寄り道ルート（飲食、買物等）として、利用していただけることを望んでいます。

運行イメージ

乗客のイメージ：臨海部と都心の商業地、にぎわいの場を細かく結び、臨海部住民や国内外観光客が、観光・買物・飲食・娯楽目的で訪れます。

運行時間帯のイメージ：平日・休日11時～歌舞伎が終る時間くらいを中心に、主要ルートの通勤者の速達性を妨げない、買物客にちょうどいいくらいの運行間隔です。

銀座内周遊交通との接続

銀座では来街者のために、銀座内を周遊できる小さな交通を検討したいと考えています。BRTに接続し、銀座内をゆっくりと周遊、1ブロックごとに停車し、低料金で気楽に乗れる小さな交通機関があれば、これからの高齢化社会にもますます歩行者に便利で、街の活性化に寄与することと考えます。

駅の位置（2カ所）

1) 数寄屋橋公園（4丁目側）

銀座には数少ない緑の公園であり、開発が進む有楽

町・日比谷方面、丸の内方面と銀座をつなぐ場所。駅周辺を待ち合わせや憩いの場とすることができる。また、地下鉄銀座駅の出入り口があり、JR有楽町駅とも近く、公共交通の乗り換えに便利。東京駅→銀座方向への駅位置は、フレキシブルに検討する。

2) 三原橋跡地

戦後埋め立てられた三十間堀にかかっていた三原橋の跡地。晴海通りからまるくふくらんだ空間の有効活用や、地下空間を待ち合わせ場所、観光案内の場所とする等の活用が考えられる。

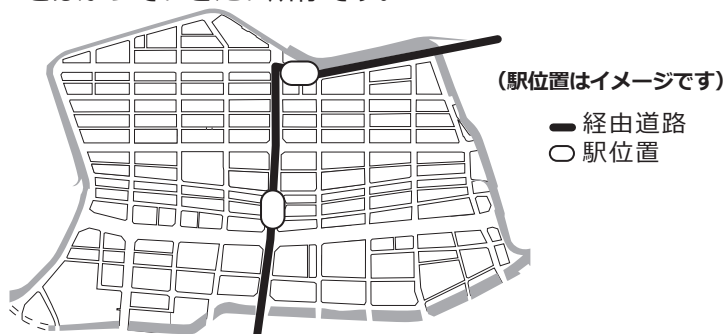
歌舞伎座へのアクセスに便利。また、地下鉄東銀座駅との乗り換えも便利。

2つの駅ができることによるメリット

銀座4丁目交差点をはさんで数寄屋橋交差点、三原橋交差点に交通の要所を設置することによって、銀座の東西区間の回遊性が高まる。雨天の日も、地下道ではなく、地上のにぎわいを楽しみながら移動できる。それぞれ乗り換え可能な公共交通機関が異なるため、乗り換えが便利。

今回東京都に提出したのはルートに的を絞ったアプローチです。今後、街としてのトータルな交通ランドデザインに発展させていく予定です。

全銀座会と銀座街づくり会議は、BRTルートの実現ならびに銀座のめざすモビリティ・デザイン実現のために、今後、社会実験を積み重ねることで、各方面とのさまざまな調整、現実的な不具合の調整、合意形成をはかっていきたい所存です。



要望書は、銀座街づくり会議ホームページでごらんいただけます。(http://www.ginza-machidukuri.jp/)